

SIDZEA  
ISSN 0912-3016

# 滋賀医科大学雑誌

JOURNAL OF  
SHIGA UNIVERSITY OF  
MEDICAL SCIENCE

Vol 10. 1995

滋 賀 医 大 誌  
J. Shiga Univ. Med. Sci.

## 滋賀医科大学雑誌投稿規程

### (内 容)

第1 本紙には、和文又は欧文の原著、総説、症例報告、CPC等を掲載する。

### (投稿資格)

第2 投稿者は、滋賀医科大学に所属する研究者、又は編集委員会が認めたものとする。

### (論文の受付)

第3 論文原稿は、編集委員会（滋賀医科大学附属図書館内）あて3部（オリジナル1部、コピー2部）提出する。編集委員長は受付年月日を記した原稿受領書を投稿者に交付する。

### (論文の受理)

第4 原稿は、別に定める「滋賀医科大学雑誌投稿手引」に従い、内容、体裁が整ったものでな

ければならない。投稿原稿の受理は、編集委員会で決定し、投稿者に通知する。

### (校 正)

第5 原稿の校正は、著者の責任において行う。内容及び組み版面積に影響を与える改変は許されない。

### (掲載料)

第6 論文の掲載料と別刷り代は、全額著者の負担とする。

### (依頼原稿)

第7 編集委員会が特に必要と認めるときは、本学内外に論文の寄稿を依頼し、本誌に掲載することができる。この場合、掲載料は徴収しない。

## 滋賀医科大学雑誌投稿手引

### (目 的)

第1 この手引は、「滋賀医科大学雑誌投稿規程」の定めるところにより、論文原稿の取扱いについて必要な事項を定めるものである。

### (論 文)

第2 論文は、原則として日本語、英語、ドイツ語、又はフランス語によるものとし、次の各号に掲げる点に留意して作成したものでなければならない。

- 1 論文は、和文では、A4版400字詰横書き原稿用紙を用いたもの（ワードプロセッサ使用の場合は、A4版に30字×25行とする）、又欧文では、A4版のタイプ用紙にダブル・スペースでタイプしたものとする。
- 2 論文の記載順序は、①表題、②著者名（ローマ字表記をつける。）、③所属、④欄外見出し、⑤原稿の枚数、図・表の数、⑥連絡先及び別刷

請求先住所、⑦欧文抄録、⑧キーワード（Keywords）、⑨本文、⑩文献とし、①～⑥は表紙として1枚にまとめること。なお、欧文論文の場合には、さらに和文抄録を付けること。

- 3 和文の表記は、原則として、「常用漢字表」（昭和56年10月1日内閣告示第1号）、「送り仮名の付け方」（昭和48年6月1日内閣告示第2号、昭和56年10月1日内閣告示第3号により一部改正）、「現代仮名遣い」（昭和61年7月1日内閣告示第1号）によるものとする。
- 4 医学用語は、日本医学会選定のものを用いること。
- 5 ラテン語の学名はイタリックで、日本語の動植物名は片仮名で書く。
- 6 略語は、国際的慣例に従い、単位及び単位記号は、国際単位系による（例：nm、 $\mu\text{m}$ 、 $\mu\text{g}$ 、 $\mu\text{l}$ 、Hz等）。

7 外国人名は、原綴のままとする。国名等は、原字又は片仮名で書く。

8 文献は次の記載法による。本文中の引用は、その右肩に番号を付けるか、又は著者名と年号を記載する。後者の場合、著者が3名以上であるときは、第1著者名の後に“ら”又は“et al.”を付ける。

末尾文献表は、引用が番号の場合は引用順、著者名の場合はアルファベット順とする。著者は略さず全員を掲げる。記載順序は雑誌の場合、①著者名(発行年)、②論文表題、③雑誌名、④巻次、⑤始め—終わりページとする。雑誌名の略記は、“Index Medicus”及び『医学中央雑誌』の略名表によるものとする。また単行本の場合は、①著者名(発行年)、②書名、③版次、④引用ページ、⑤発行所、⑥発行地とする。

記載例

King, S.J., Reilly, K., Dawes, J. and Miller, H.R.P. (1985) The presence in blood of both glycosaminoglycan and mucosal mast cell protease following systemic anaphylaxis in the rat. *Int. Arch. Allergy Appl. Immunol.* 76, 286-288.

Goldstein, A., Aronow, L. and Kalman, S.M. (1968) *Principles of Drug Action.* 343-428. Harper & Row, New York.

Gross, D. (1974) Pain and the autonomic nervous system. In “Advances in Neurology, Vol. 4, Pain”, ed. by J.J. Bonica. 93-103.

Raven Press, New York.

Fujita, H., Nakayama, N., Sawabe, T. and Kimura, K. (1970) In vivo distribution and inactivation of neocarzinostatin. *Jpn. J. Antibiot.* 23, 471-478 (in Japanese).

松井成一 (1976) 再生時の肥胖細胞の組織化学的研究, 京府医大誌85, 483-492.

梶川欽一郎 (1984) 結合組織9-17. 金原出版, 東京.

9 本文, 文献, 抄録など, 欧語はすべてタイプで記す。

10 図・表は, 個々の掲載寸法又は縮小率を明記して別に添付し, 本文中には, 図表が挿入されるべき位置を明示しておくこと。また, 図の裏面上縁には“上”と記しておくこと。

(抄録)

第3 抄録 (Abstract) は, 次の各号に掲げる点に留意して作成すること。

1 欧文抄録は, すべて英文とし, 本文が欧文の場合は, 和文抄録をも付ける。

2 和文抄録の記載順序は, ①表題, ②著者名, ③所属, ④抄録本文とする。

3 抄録の長さは, 和文では800字以内, 欧文では300語以内とする。

(掲載料の納入)

第4 投稿者は, 請求のあった日から2週間以内に, 全額を納入しなければならない。

---

---

滋賀医科大学雑誌  
第10巻 平成7年7月

発行 滋賀医科大学雑誌刊行会  
大津市瀬田月輪町(〒520-21)  
滋賀医科大学附属図書館内  
電話 0775-48-2077

編集 滋賀医科大学雑誌編集委員会  
編集委員長 高橋三郎  
編集委員 安藤番志  
大久保岩男  
可児一孝  
木之下正彦  
木村正宏  
神田義朗  
島田司巳  
西克治  
(五十音順)

印刷 進行印刷出版株式会社  
京都市左京区一乗寺東閉川原町19(〒606)  
電話 075-711-5623

---

---

随 想

私の最終講義

北原正章 ..... 1

原 著

ヒト骨髄間質細胞株BM01がヒト白血病細胞株K562の増殖に及ぼす影響  
—接着分子を介する作用—

井上徹也, 藤山佳秀, 松原英俊, 馬場忠雄 ..... 5

筋弁・筋皮弁を用いた手術症例の検討

迫 裕孝, 柴田純祐, 阿部 元, 川口 晃, 小玉正智, 沖野功次, 中根佳宏 ..... 17

移植腎摘出術の検討

阿部 元, 迫 裕孝, 小玉正智, 朴 勺, 友吉唯夫, 沖野功次, 中根佳宏 ..... 23

滋賀医科大学における献腎移植症例の検討

朴 勺, 井上 均, 小泉修一, 坂野祐司, 金 哲將, 岩城秀出洙, 濱口晃一,  
成田充弘, 尾松 操, 林田英資, 小西 平, 友吉唯夫, 迫 裕孝, 阿部 元,  
沖野功次, 中根佳宏, 小玉正智 ..... 29

肝虚血再灌流および肝移植モデルにおける thrombomodulin と  
plasminogen activator inhibitor-1 の免疫組織化学的検討

渡辺英二郎, 江口 豊, 生内一夫, 小玉正智 ..... 37

多臓器不全患者の急性腎不全に対する血液浄化療法の検討

福島 浩, 朴 勺, 迫 裕孝, 古塚大祐, 友吉唯夫 ..... 47

バセドウ病手術症例の臨床的検討

迫 裕孝, 阿部 元, 西原和郎, 小玉正智, 沖野功次, 中根佳宏 ..... 57

Evaluation of Peritoneal Lavage Cytology at the Time of  
Operation for Gastric Cancer

Nobukuni TERATA, Kohnosuke MIZUTANI, Masashi KODAMA,  
Hidetoshi OKABE ..... 65

遅発性脳血管攣縮モデル犬における脳動脈の微細構造の経時的変化

中澤拓也 ..... 73

パーフルオロオクタン酸およびフロモキセフナトリウムの血液中における  
分配平衡のフッ素分析法による研究

白石 剛 ..... 87

生理的心拍応答型心臓ペースメーカーによる好氣的運動耐容能の改善の機序に対する検討

山田哲博 ..... 99

プレジェット付き水平マットレス縫合を用いた気管支断端閉鎖法に  
関する実験的および臨床的検討

朝倉庄志, 加藤弘文, 藤野昇三, 山下直己, 榎堀 徹, 小西孝明, 浅田佳邦,  
手塚則明, 森 渥視, 桂 敦史 ..... 109

Treatment of patients with hypopharyngeal and cervical esophageal cancer  
—Vocal rehabilitation with tracheo-gastrics shunt—

Junsuke SHIBATA, Akira KAWAGUCHI, Hirotaka SAKO,  
Masashi KODAMA, Kazutomo KITAJIMA, Hitoshi SAITO ..... 115

抄 録

滋賀医大シンポジウム 第11回【発癌ならびに癌遺伝子】 ..... 123